

平成26年度

第29回 千丁地域審議会 会議録

平成26年12月12日作成

千丁地域審議会 会長 村松 鈴子



第29回 千丁地域審議会会議録

開催日時	平成26年11月19日(水) 13:30~16:00
開催場所	千丁支所2階大会議室

■ 出席委員

会長	村松 鈴子	委員	永溝 ユリ子
副会長	松永 要	〃	南 真佐子
委員	大江田 浩	〃	村田 俊治
〃	益田 浩司	〃	吉井 一利
〃	中 寛		

■ 欠席委員

作田 絹子

■ 市出席者

役職	氏名	役職	氏名
副市長	永原 辰秋	企画振興部次長	丸山 智子
支所長	柰島 道則	企画政策課長	宮川 武晴
総務振興課長	豊田 孝二	〃 企画係長	草西 亮介
〃 課長補佐	北川 浩也	〃 主事	吉永 昇平
〃 振興係長	松岡 長武	財政課長	佐藤 圭太
市民福祉課長	鶴田 英治	〃 課長補佐	谷脇 信博
千丁農林水産事務所長	山本 誠	〃 主任	平田 健二
千丁建設事務所主幹	松島 繁康	建築住宅課長	今村 一成
		〃 課長補佐	尾崎 行雄
		市民活動支援課 住民自治推進係長	村上 修一
		〃 主任	山村 早智子

■ その他の出席 なし

1. 開 会

2. 諮 問

3. 挨拶

4. 議 題

■ 審議事項

(1) 新庁舎建設候補地について（諮問）

(2) 新市建設計画の変更について（諮問）

■ 報告事項

(1) 空き家バンク調査事業について

(2) 住民自治によるまちづくり行動計画（後期）案の概要について

(3) 地域振興ビジョンの報告について

5. その他

6. 閉会

■ 傍聴者

一般傍聴者	0 名	報道機関	2 名
-------	-----	------	-----

■ 協議事項

○開会

※第 29 回千丁地域審議会 会議成立説明。

○諮問

※永原副市長より村松会長へ諮問

○挨拶

○議題

■審議事項

(1) 新庁舎建設候補地について（諮問）

※財政課説明要旨

- ・東日本大震災に伴い合併特例法が改正され、特例債が5ヵ年延長となり、延長期間である平成32年度までに本庁舎を建設することにより、市民負担を最小限に抑えることができると判断した。
- ・建設候補地の優先順位について、住民代表の意見として答申いただき、執行部の意見と共に議会に諮るため、検討をお願いする。

《意見・質問》

委員：千丁支所庁舎が支所の中では一番新しい。合併協議会で検討された際には千丁支所庁舎の隣に新庁舎を建て、廊下で繋ぐと良い旨の意見もあった。

委員：千丁支所周辺に建設する際のデメリットに挙げてある県道交差点について、現在、東西線が建設中であり、5～6年もすれば東西線が完成するので問題は解消される。また、買収が必要な面積も調整可能ではないのか。千丁支所周辺はデメリットよりメリットが多い。

委員：本庁北側東校グラウンド跡地を含む現在の市役所敷地の場合、現在ある本庁舎を壊し、その場所が一般来場者駐車場になると考えてよいか。

回答：まだ建設位置が決定していないので、今後の検討となる。

委員：本庁北側東校グラウンド跡地に作れば、中心市街地のメリットとなるが、八代市には坂本町・東陽町等の中心市街地から離れた場所もある。遠方の人のごとも考えて欲しい。内部検討委員会の構成委員の中には、各地域からのメンバーも入っているのか。

回答：副市長を座長としたプロジェクトチームがあり、そのメンバーには各部長が入っている。実際の作業は25人の課長補佐、係長が行っており、各支所からも1名ずつ入っている。その作業の中において候補地として残ったのが、諮問した4候補地である。

委員：中心市街地に本庁舎があれば、移動手段が無い人達にも行きやすいはずである。

委員：新庁舎建設候補地について、各地域審議会での議論が報道されるのは構わないが、各地域審議会での結果が頭に残る。今日、千丁地域審議会で審議しても結果が変わるのか疑問。もしこの千丁地域審議会で千丁支所周辺という結論になった場合、他の地域の方が聞けば「結局千丁の人は千丁が一番たい」となってしまう。

委員：現在の市役所敷地以外に決定した場合、現在の本庁敷地はどうなるのか。

回答：現在のところ活用については未定。現在、自治体ではファシリティマ

ネジメントという考え方の基に運営を行っており、敷地の一部は使うかもしれないが、使わないものは売却していく。

委員：本庁を売却する場合の売却益はいくらか。

回答：いくらで売れるかは計算していない。建物を解体するだけで数億は掛かると思われる。

委員：千丁支所周辺のデメリットとして、中心市街地の反発と記載があるが、なぜ反発されるのか。

回答：反発の内容について発言できる立場に無い。今回の諮問では候補地の順番をご検討いただきたい。

委員：今回の諮問で順番のみを検討して欲しいということは、内容について審議をするなどということか。

回答：反発の内容について、代弁する立場に無いということである。

委員：引越し費用について試算されているのか。

回答：必要となるのはガソリン代と手間である。本庁北側東校グラウンド跡地に庁舎を建設した場合、コンピュータサーバーの移転だけで3,000～3,500万円掛かる。荷物の移動はマンパワーでの対応となる。

委員：現在の本庁舎の売却を考慮せず候補地を決定するのはおかしい。

回答：検討部会において売却を検討していないことは反省する。現在の本庁舎とは別の所に新庁舎を建てるのであれば、現在の本庁舎の周辺部の方々から「支所を作って欲しい」との声が出てくる。そのことから現在の本庁舎を売却するという事は考えていない。

委員：新庁舎建設費78億円はどのような試算から出てきたものか。

回答：用地購入に外溝工事を含め10億円で試算している。その他、先行事例から試算すると19,000㎡の床面積を持つ建物が必要となる。最近の建設単価で計算すると68億円となる。したがって10億円で68億を加え、78億円と試算している。

委員：中心市街地から離れた場所に新庁舎を持っていけば、中心市街地が廃れてしまう。中心市街地の方々からすれば、現在の場所に新庁舎を作ってもらいたいのだろうと思う。旧八代市の方々は自転車や徒歩の方も多し。新庁舎建設候補地については、若い方が考えた方が良く考える。

委員：候補地を評価する場合、平等に情報を出し評価して貰いたい。

委員：千丁支所内に社会福祉協議会が移転した際、「良い場所に移転した」との話を多数聞いた。千丁支所周辺で良いのではないか。

委員：長い目で見れば、郊外へ持っていたほうが良い。旧八代市の方が考えれば今の場所がベストということになるのだろう。

委員：千丁地域も交通の便は悪くない。新庁舎は郊外で良い。

委員：移転した場合、反発があるとのことだが、跡地を上手く利用すれば反発も少なくなるのではないか。

委員：例えば千丁支所周辺に新庁舎を建設したら、千丁支所はどうなるのか。市町村合併における協議内容には「調整する」との記載があるが、千丁庁舎は残るのか。売却益も情報提供すべきである。

回答：選定に際し、売却益の検討は行っていない。

委員：会長に一任するが、話でまとまらないのなら他地域審議会での“投票”という事例が頭に入ってくる。

委員：お互い一人ひとりの考えがある。

※議長より投票で決する旨の提案あり ⇒ 委員了承

《投票結果》

- 1位 千丁支所周辺
- 2位 本庁北側東校グラウンド跡地を含む現在の市役所敷地
- 3位 新八代駅周辺
- 4位 本町二丁目 21 世紀パチンコ跡地

(2) 新市建設計画の変更について（諮問）

※企画政策課説明要旨

- ・東日本大震災を受け、被災地以外の合併市町村でも市町村建設計画に基づく事業に要する経費に充てることができる合併特例債の発行期間が、合併年度及びこれに続く 15 年度まで延長された。
- ・これまで合併特例債を活用し、小中学校施設の耐震化など、防災・災害対策の充実を図る事業や、広域交流施設整備など、合併効果を高める事業等を行ってきた。
- ・本市の合併特例債の活用状況は、平成 25 年度末時点で約 88 億円であり、活用する余地が残されている。
- ・財源として合併特例債を引き続き活用し、計画に基づく事業の推進、財政負担の軽減を図るため、新市建設計画の計画期間を 5 年間延長し、平成 32 年度までの計画とするものである。

《意見・質問》 なし

《結果》

内容について妥当であると認める

■報告事項

(1) 空き家バンク調査事業について

※建築住宅課説明要旨

- ・第26回の千丁地域審議会において、八代市住生活基本計画、いわゆる住宅マスタープランについて報告したが、その中で地域定住の受け皿のひとつとして、平成28年度を目標に空き家バンクを創設する旨、報告を行った。
- ・空き家バンクを創設し情報を提供することにより、市外からの出入り促進、家屋の老朽化予防等を目指すものであり、今後の作業内容について報告するものである。
- ・11月21日に開催される市政協力員の勉強会において、空き家調査をお願いする予定。

《意見・質問》

委員：介護福祉施設等に入所されて何年すれば空き家とみなされるのか。

回答：詳細な要項は決まっていないが、今回の調査では空き家全部を対象としたい。その後、所有者の意向で判断したい。

委員：調査対象は住宅だけなのか

回答：戸建て住宅だけである。

(2) 住民自治によるまちづくり行動計画（後期）案の概要について

※市民活動支援課説明要旨

- ・8～9月に掛けて住民自治によるまちづくり行動計画（後期）についての説明会を開催した。その報告を行うものである。
- ・現在、前期計画期間での課題整理や住民説明会での意見を集約し、後期計画（素案）を策定中であり、今月中に取りまとめ、12月から各支所や市HPにおいてパブリックコメントを実施予定。

《意見・質問》

委員：絵に描いた餅とならぬよう、行動に移して欲しい。

(3) 地域振興ビジョンの報告について

※千丁支所説明要旨

- ・合併10周年の節目の年を迎えるにあたり、支所職員としての視点で、地域独自の歴史的、文化的な特徴等の地域資源を活かし、特色あるまちづくりをすすめるための指針を策定することによって、各支所が目指すまちづくりの方向性を鮮明にしようと考え策定したものであり、その内容について報告を行うものである。

《意見・質問》

委員：関係部署、各職員と連携して取り組んでもらいたい。

委員：せんちょうい草の里まつりでは、“い草の里”というものの、い草関連の商品が販売されていない。是非せんちょうい草の里まつりにおいて、加工品の販売も検討して欲しい。

回答：同様のご意見を頂いている。実行委員会等の皆様へ相談し検討していく。

委員：このビジョンはパトリア千丁温泉施設が再開しなければ意味が無い。温泉施設は再開できるのか。

回答：揚湯試験は8月に終了しており、3月末までにポンプ据付等の工事を終わらせる予定。出来れば4月には再開したいと考えている。

委員：源泉の温度は大丈夫だったのか。

回答：源泉温度 35℃。400mと 500m地点で揚湯試験を行ったが、33℃と 34℃の 1℃違いだったので、不純物吸込み等の安全を考慮し、400m地点にポンプを据え付けることに決めた。

委員：千丁町は様々な施設があり、子育てがしやすい場所であり、千丁に住んでよかったと思っている。千丁町以外の方にも千丁地域のことをアピールして欲しい。

○その他

平成 26 年度の地域審議会開催について

※千丁支所総務振興課説明

- ・第 30 回 平成 27 年 3 月頃を予定している。

○閉会